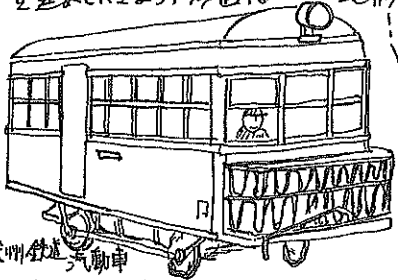


秋色の岩付城を攻略しよう

城跡と地形の自然観察 2023年10月8、22、29日調査 / 小川 萌

岩付は、元荒川の水運、鎌倉街道の陸運が通る要地として古くから発展してきました。大田氏や岩付城を拠点に関東管領上杉氏が補佐する軍事上の拠点として地形を圧して築城を進めていきました。今回は地形の観点から観察したいと思います。いざ攻城!



武州鉄道

1924年(大正13年)に道田〜岩槻間が開業。1936年(昭和11年)には川口〜神根まで延伸された。1929年(昭和4年)に野田線が大江まで開通すると、管内につなげていた武州鉄道は営業が廃止されてゆき、1938年(昭和13年)に廃線となった。

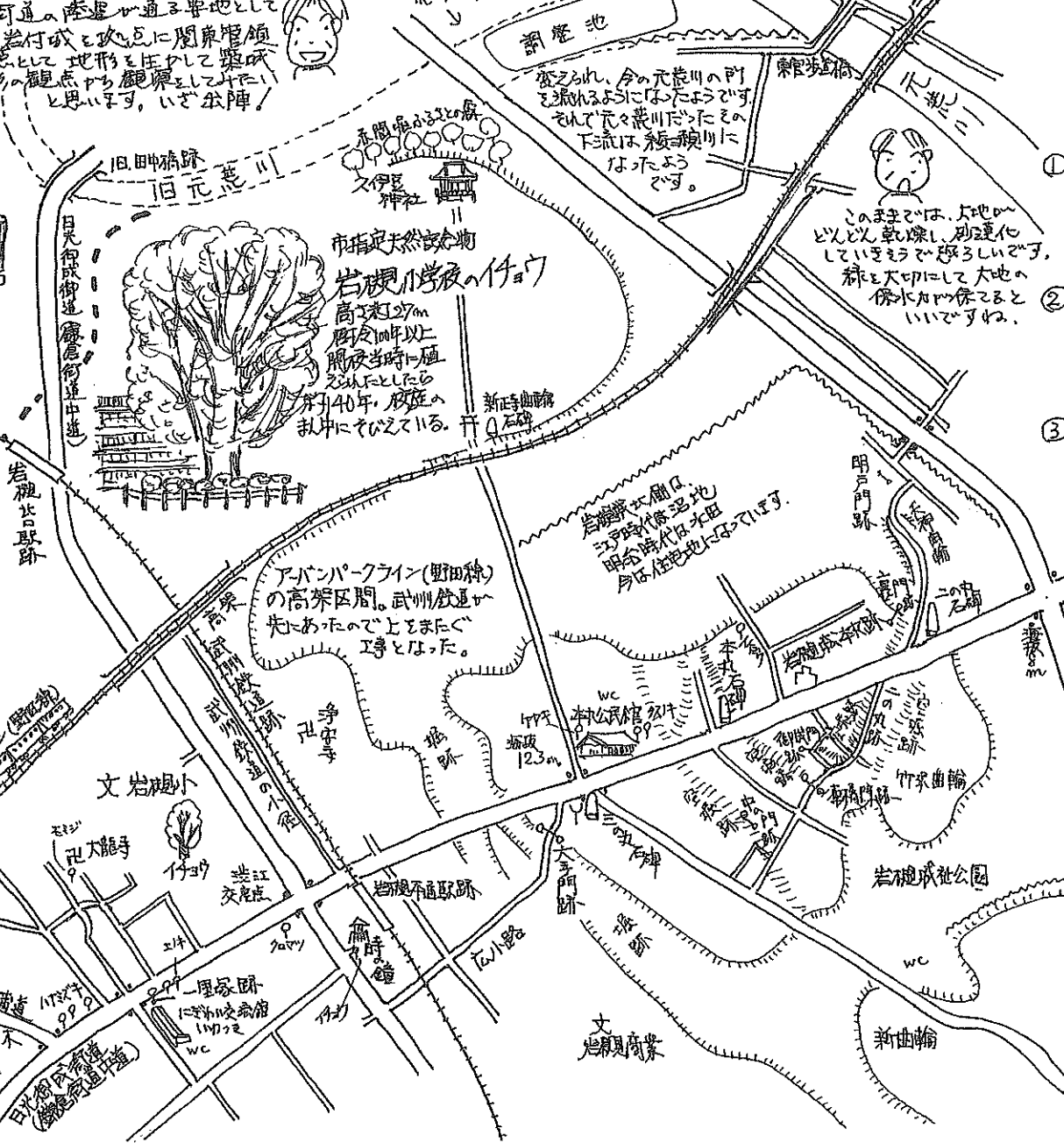
岩槻大橋

岩槻の城と城下町を守る長さ約8kmの土塁。今は愛宕神社だけに一部が残っている。

城外側

元荒川... 元々は 何川? (元荒川が荒川に変わった時代は不明)
元荒川は、元荒川が流れていたから元荒川というのですか? それは江戸時代の事。ところがさらに遡ると(歴史を)、荒川が今の荒川になる前は、荒川が荒川川と流れていたのです。戦国時代末、梅川市付近で荒川の流れる川が...

東武線
元荒川は、元荒川が流れていたから元荒川というのですか? それは江戸時代の事。ところがさらに遡ると(歴史を)、荒川が荒川川と流れていたのです。戦国時代末、梅川市付近で荒川の流れる川が...



- ① 川の流れが曲がっていた。今の川は、洪水対策のため、川の流れは直線に近い。すると流れは速くなり、木はどよどよ下流に流れるため、川は浅くなり、昔は流れは自然のままなので曲がりくねっていたのが流れ直ったのです。
- ② わざと曲がりくねらせて水深を深くしていた。昔は、川は船で荷物を運ぶ大切な役割を果たしていました。船は大きいほどたくさん荷物を運べます。そのため、川が深くなるように、わざとわざと工事をして、川を曲がりくねらせたところもありました。
- ③ 大地が木でかかっていた。今は、大地がアスファルトやコンクリートにふまわっていますが、昔は森林や火田、木田、荒地が多く、雨水が大地に浸み込んでいました。そのため、雨が降らない時でも、湧き出した水が川に流れ込んでいました。
- ④ 川をせき止めて水をためていた。山が低い低地では、川をせき止めて、雨水として利用していました。今も、農業用水として春〜夏の間は、水がためられています。

時の鐘 市指定文化財

岩槻城主 阿部正春の命で、1671年(寛文11年)に造られた。今の鐘は、1720年(享保5年)に改鑄された。



江戸時代に造られた鐘楼